

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(令和元年度事業分)

令和2年9月

葛城市教育委員会

目 次

	はじめに.....	1
1.	教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について.....	2
2.	教育に関する事務の点検及び評価について.....	2
3.	教育委員会点検・評価に関する有識者の概要.....	4
4.	教育委員会の運営及び活動状況.....	5
5.	葛城市総合計画に基づく政策体系について.....	9
6.	教育委員会事業評価シート.....	1 1
7.	点検及び評価のまとめ.....	5 9

はじめに

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、教育委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務を確実に実施することが求められます。

平成27年4月1日には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行われ、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が図られたところです。

この「教育に関する事務の点検及び評価」は、平成20年度より毎年、事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表しております。今年度は、令和元年度事業評価にあたり、前年度評価の実施後、改めて評価対象や評価方法に係る議論を重ね、その上で担当課ごとに自己評価に取り組みました。6月には、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」により、各事業実務担当者に対するヒアリングを実施し、各事業についてご意見をいただきました。

有識者のご意見を受けて再度担当課ごとに来年度以降の事業方針を決定し、最後に教育委員より評価の総評をいただきました。

この報告書は、以上の成果を「教育に関する事務の点検及び評価報告書」としてまとめたものです。

1. 教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について

(1) 趣旨

葛城市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 実施方法

- 1) 葛城市教育委員会の主要施策を対象として点検及び評価を行う。
- 2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向を示すものとし、毎年1回実施する。
- 3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- 4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」を置く。
(「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。)
- 5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

2. 教育に関する事務の点検及び評価について

(1) 評価の対象

評価の対象は前年度の施策・事業（今回は令和元年度事務執行分）とし、葛城市教育委員会所管の学校教育・社会教育それぞれの分野の施策に関して、評価を実施しました。

(2) 今年度の点検及び評価の流れ

まず、主要事業ごとに教育委員会事務局自らがそれぞれの事業のコスト及び成果等について自己評価を行いました(教育委員会事業評価シート(計画)・(実施内容)・(評価)各欄)。その後、事務局評価の客観性を確保するため、作成した評価シート及び各課への有識者ヒアリングをもとに、有識者より様々なご意見をいただきました(教育委員会事業評価シート(有識者意見)欄)。事務局はそれらのご意見を受けて、来年度以降の事業方針を決定しました(教育委員会事業評価シート(方向性)各欄)。

最後に、これらすべてについて教育委員よりご意見をいただきました(点検及び評価のまとめ)。

(3) 点検・評価の経緯

①令和元年度 2月定例教育委員会会議(令和2年2月25日開催)

教育に関する事務の点検及び評価の公表・年度計画について協議決定するとともに、事務の点検及び評価を行う様式及び評価事業の決定を行いました。

②教育に関する事務の点検及び評価 有識者ヒアリング

(令和2年 6月3日・4日開催)

事業評価について、各事務担当より意見聴取を行いました。

③令和2年 7月 教育委員からの意見の聴取

教育に関する事務の点検及び事業評価についての意見を聴取しました。

④令和2年 8月 教育委員の意見総括と最終決定

教育に関する事務の点検及び評価報告書を決定しました。

⑤「教育に関する事務の点検及び評価報告書」を葛城市議会議長に提出します。

(令和2年9月提出予定)

(4) 各事業の方向性

令和元年度主要施策における来年度以降の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事業の方向性	件数
さらに重点化する	1件
現状のまま継続する	12件
見直しのうえ継続する	10件
事業の縮小を検討する	0件
休止、廃止を検討する	0件
終了・完了	0件

(主要施策ごとの評価は、P13～P58に掲載)

3. 教育委員会点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、葛城市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者を委嘱しました。

有識者は、次の方に委嘱しました。

岡野 晴充 (元小学校校長、葛城市社会教育委員・公民館運営審議会委員、歴史博物館協議会委員)

川中 教正 (當麻寺奥院 副住職)

(主要施策ごとの意見は、P13～P58に掲載)

4. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育長及び教育委員について

教育長及び教育委員は下表のとおりです。(令和2年9月1日 現在)

職名	氏名	備考
教育長	杉澤 茂二	
教育長職務代理者	和田 治	
委員	西川 吉昭	
委員	高木 希容子	
委員	高橋 真一	

(2) 教育委員会議及び審議状況について

令和元年度は合計で17回の委員会を開催し、審議事項17件、協議報告事項39件について審議・協議を行いました。内容は、下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月17日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会人事異動について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について ・平成31年度学校教育課程について
5月10日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の委嘱について ・文化財保護審議委員の委嘱について ・表彰審査委員会委員の委嘱について ・葛城市教育委員会後援名義の把握について ・体育振興課 昨年度事業の状況報告について ・令和2年3月の卒業式について
5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務に係る議案の意見聴取について ・葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
6月10日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について ・葛城市文化会館協議会委員の委嘱について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校薬剤師の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について 	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
8月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について ・葛城市学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について ・教育に関する事務に係る議案の意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 教育に関する事務の点検及び評価報告書について ・令和元年度 奈良県社会科教育研究大会共催の依頼について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について
9月15日	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 近畿市町村教育委員会研修大会について（参加確認） ・令和元年度 奈良県市町村教育委員会研修大会について（参加確認） ・令和元年度 市町村教育委員研究協議会について（参加） ・令和元年度 市町村教育委員会研究協議会について（不参加） ・いじめに関するアンケート調査結果について ・全国学力・学習状況結果について ・今後の幼稚園教育について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
10月23日	なし	・葛城市教育委員会後援名義の使用について
11月15日	なし	・葛城市教育委員会後援名義の使用について
11月22日	・葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について	なし
11月28日	・学校給食特別会計予算に対する意見聴取について	・葛城市教育委員会後援名義の使用について
12月24日	なし	・葛城市教育委員会後援名義の使用について
1月9日	なし	・生活作文優秀者選考について ・ギガ・スクール構想について
2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度葛城市一般会計補正予算に対する意見聴取について ・令和2年度葛城市一般会計予算に対する意見聴取について ・令和2年度葛城市学校給食特別会計予算に対する意見聴取について ・葛城市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について ・葛城市教育委員会障害者活躍推進計画(案)について 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生向け冊子「発見・探検わたしたちの奈良 地域のお仕事」発行における協力について ・葛城市教育委員会後援(主催)名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
2月27日	なし	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う卒業式等行事について
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・葛城市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について ・葛城市教育委員会臨時講師取扱基準の一部を改正する基準について ・葛城市立小中学校教職員の安全衛生に関する要綱の一部を改正する要綱について 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月1日付人事異動について ・新年度行事等について ・葛城市教育委員会後援名義の使用について ・葛城市教育委員会後援名義の使用承認済事業の再申請について

(3) 教育委員会議以外の活動について

市内外の各種行事や研修等に参加しました。主な内容は、以下のとおりです。

- ・各幼稚園、小・中学校入学式（4月10日～12日）
- ・奈良県市町村教育委員会連合会会議（5月17日）
- ・総合教育会議（7月4日）
- ・葛城市立学校新着任者研修会（8月20日）
- ・市民体育祭（9月15日）
- ・各幼稚園、小・中学校運動会（9月28日～10月5日）
- ・近畿市町村教育委員会研修大会（10月11日）
- ・奈良県市町村教育委員会研修大会（11月15日）
- ・各小・中学校訪問（10月23日～11月28日）
- ・総合教育会議（12月24日）
- ・各幼稚園訪問（1月27日、2月4日）
- ・葛城市駅伝・マラソン大会（1月12日）
- ・成人式（1月13日）
- ・教育委員会人事具申ヒアリング（1月23日）
- ・生涯学習まちづくり推進大会（2月16日）
- ・孝女伊麻顕彰法要（2月27日）
- ・各幼稚園、小・中学校卒業式（3月13日～19日）

5. 葛城市総合計画に基づく政策体系について
葛城市総合計画については以下のとおりです。

都市像	政策の柱
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">歴史を重ね、未来を育む 愛される住みよい共存の都市_{まち}時代を超えて 葛城市</p>	<p style="text-align: center;">調和・共助 ～多種多様な価値観が共存するまち～</p>
	<p style="text-align: center;">壮健・学習 ～心と身体が健やかに育まれるまち～</p>
	<p style="text-align: center;">活力・安全 ～にぎわいあふれる安心なまち～</p>

政策目標

施策目標

市民みんなが活躍できる社会の構築

高齢者や障がい者が生きがいをもって暮らせるようにする
女性が積極的に社会進出できる社会を形成する

豊かな自然の保全・継承

循環型社会を形成し、ごみの減量化を進める
森林や河川等の自然環境の維持・景観形成に努める

歴史・文化と調和的な地域づくり

歴史や文化の保護・活用を図る
時代の変化を踏まえた地域づくりを進める

誰もが生涯健康で過ごせるまちづくり

未病・予防と重症化防止の取組を通じた健康寿命の延伸
安心して医療・介護サービスが受けられる体制づくり
運動の場の形成を通じた市民の健康の増進

教育・学習による未来の市民づくり

子どもの健全な育成に対する各種支援を行う
基礎学力の向上や社会を生き抜く力の養成を進める

生涯学習による豊かな心の涵養

芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する
人権教育により差別のない社会を形成する

住みよいまちを支える社会基盤の実現

基幹道路や駅前道路、地域交通ネットワークの整備を進める
管路の整備・補修を進めて安定的な上下水道の利用を確保する

産業振興による地域の稼ぐ力の向上

農商工業の地場産業を育成し、活性化させる
観光業の振興によるまちの賑わい創出

安心・安全な生活環境の整備

自然災害や火災等に対する備えを十分なものにする
地域の防災体制を強化し、犯罪の発生を抑止する

※網掛け部は今回の教育委員会評価対象事業において目標とされている施策です。

6. 教育委員会事業評価シート

【令和元年度主要事業に対する教育委員会評価シート】

- 事業 No. 1 小・中学校トイレ改修工事
- 事業 No. 2 小・幼各所改修工事
- 事業 No. 3 小学生スポーツ教室委託事業
- 事業 No. 4 学校給食事業
- 事業 No. 5 葛城歌壇短歌大会
- 事業 No. 6 読書活動支援・講座
- 事業 No. 7 ブックスタート事業
- 事業 No. 8 成人式式典事業
- 事業 No. 9 青少年健全育成事業
- 事業 No. 10 学校・地域パートナーシップ事業
- 事業 No. 11 生涯学習まちづくり推進大会
- 事業 No. 12 葛城アートフェア事業
- 事業 No. 13 公園まつり実行委員会業務
- 事業 No. 14 地区間教室・講座事業
- 事業 No. 15 中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業
- 事業 No. 16 文化振興事業
- 事業 No. 17 展示（常設展・特別展等）事業
- 事業 No. 18 歴史講座開催事業
- 事業 No. 19 埋蔵文化財等調査事業
- 事業 No. 20 各種教室開催事業
- 事業 No. 21 各種スポーツ大会等開催事業
- 事業 No. 22 体育施設の管理運営事業
- 事業 No. 23 総合型地域スポーツクラブ事業

教育委員会事業評価シート

		事業No.	1
事務事業名	小・中学校トイレ改修工事	担当課名	教育総務課
係 名	施設係	施 設 名	市内各小・中学校

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	明るく清潔で快適なトイレ空間の構築			
事業の内容	老朽化し洋式化率の低いトイレを、明るく清潔で快適な空間にするため、磐城小学校の新館と新庄北小学校の南棟のトイレの全面改修工事を実施した。 和式便器の洋式化、湿式床から乾式床への改修、その他内装、設備器具の取替えを行った。			
事業対象	各小学校			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 30年度 ～ 令和 元年度 間

(実施内容)

		区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
		事業費 ①	内一般財源	内国・県補助金	内受益者負担	人件費 ②
事業コスト (単位：千円)			0	81,906	55,121	
			0	65,744	44,040	
			0	16,162	11,081	
			0			
			0	1,800	1,800	
			0			
			0			
実績と 成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業 実績	施工	千円	-	80,850	55,121
		設計	千円	-	-	-
		監理	千円	-	1,056	968
事業 成果				磐城小学校 新館1階2階 男女トイレ全面改修、 便器洋式化、乾式床、 電気・機械設備 新庄北小学校 南館1階 2階3階男女全面改修、 便器洋式化、乾式床、 電気・機械設備	新庄中学校 北館1階2階3階 男女トイレ全面改修、 電気・機械設備	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	生活文化の変化に伴い、トイレの洋式化を促進し、実生活に則した環境づくりを実施した。じめじめと暗いイメージの湿式床から、明るく清潔感あふれる乾式床にし、快適な空間を提供できた。臭いの元を断つために、全排水管及び、床・壁・天井・ブースの全撤去、新設をおこなった。			
事業の課題・問題点	工事時期により、授業実施中に音出し工事をする事で、授業への悪影響が懸念される。できるだけ休日作業を実施するが、工期内竣工の工程により、調整の困難度が高い。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	令和元年度よりの新規事業のため該当なし。
-------------------	----------------------

(有 識 者 意 見)

有識者意見	現在、生活環境の変化に伴い家庭でのトイレはほとんどが洋式トイレである。和式トイレを洋式トイレにすることによって、児童・生徒が使用しやすく、快適な空間ができたのは評価できる。 最近は洋式トイレのみという家庭環境が一般的で、商業施設などでも明るく清潔で快適なトイレ環境が整ってきております。学校においても中長期的視点に立って、トイレの近代化改修は適時行うべきだと考えます。今後は設置した機器の故障不具合が無いよう定期的なメンテナンス実施や、児童に対する掃除方法の指導など、長期的な維持方法についても検討下さい。
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	学校と連携し、トイレ機器の不具合等について把握するとともに、迅速な対応をする。掃除方法についても、年度当初に説明会を実施し、長期的な維持に努める。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	2
事務事業名	小・幼各所改修工事	担当課名	教育総務課
係 名	施設係	施 設 名	各幼稚園・小学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	教育施設の危険箇所・老朽箇所を改修し、児童・生徒の安全を確保するとともに、快適な教育環境の提供を行う。			
事業の内容	より良い教育環境を築くため、小・幼の建物・設備の中規模程度の改修工事を実施した。小学校では、新庄北小学校で体育館コウモリ対策工事及び、南棟普通教室照明器具LED更新工事、磐城小学校で南棟教室床補修工事及び、職員室東側外部出入口引違い戸改修工事を行い、幼稚園では、忍海幼稚園で木製遊具塗装、補強工事、當麻幼稚園で手洗い、足洗い場塗装工事を行った。			
事業対象	各幼稚園、小学校			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	令和 元年度 ～ 令和 元年度 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		5,222
内一般財源			5,222	2,484	2,902
内国・県補助金			0	0	0
内受益者負担			0	0	0
人件費 ②			2,864	300	600
総コスト①+②			8,086	2,784	3,502
実績と成果	区 分	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	千円	5,222	2,484	2,902
	事業成果	工事箇所	【新庄北小】プール塗装 【忍海小】プール棟屋根塗装 【磐城小】ホワイトボード設置 【當麻小】プール機械室換気扇設置、家庭科室LED照明設置 【新庄中】グラウンドスコアボード撤去、プールサイドシート張替え 【白鳳中】渡り廊下改修 【新庄幼】遊戯室雨水侵入対策	【新庄北小】体育館蝙蝠対策、教室LED交換 【磐城小】教室床補修、職員室扉交換 【忍海幼】遊具塗装補強 【當麻幼】手洗い場塗装	【新庄小】多目的室雨漏り・床補修、職員室網戸設置 【新庄北小】遊具塗装 【磐城小】手摺設置、職員室床補修

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	各学校園からの要望について、児童・生徒・園児の衛生面、安全面、利便性の向上等を検討し、緊急性の高いものを本事業で施工することにより、施設全体の長寿命化にもつなげることができた。			
事業の課題・問題点	各学校園とも、建築より相当年数が経過しており、学校園側が要望する修繕箇所も年々増加しているが、予算に伴い全てに対応することは困難である。子どもの命を第一に考え、緊急を要する箇所から着手することとし、安全で安心できる教育施設の環境づくりを進める必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	各学校園からの要望箇所をその都度現地確認し、自ら施工できるものは早期に補修作業を行っている。諦めずに挑戦し、なおかつ安心安全を確保できる補修作業を行う。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	子供たちが毎日活動する幼稚園・小学校は、安全でなくてはならない。そのために、施設点検を定期的実施され、危険箇所等は早期に修繕・改修し計画的にすべての教育施設の環境整備に取り組んでおり、十分評価できる。 市内各学校施設の多くでは老朽化が進んでおり、大規模改修では行き届かない不具合が発生しています。児童の安全に関わることですから、教育委員会と学校とが密に連絡を取り合っ、ひとつひとつ丁寧に対応していくことが肝要です。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	学校と常に連携し、迅速な対応を継続していく。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	3
事務事業名	小学生スポーツ教室委託事業	担当課名	学校教育課
係 名	学習指導係	施 設 名	小学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	市内全小学校の5年生を対象に、日本サッカー協会よりアスリート等の派遣を仰ぎ「夢をもつこと」「協力すること」の大切さをゲーム及び講話を通じて指導いただく。			
事業の内容	<p>「小学生スポーツ教室委託事業」とは、日本サッカー協会が実施しているもので、サッカー界だけでなく他のスポーツのトップアスリート等の交流を通して、子ども達の心身の健全な発達に貢献していくプロジェクトであり、「DREAM 夢があるから強くなる」をスローガンに掲げ、「夢の教室」をテーマにしている取組である。</p> <p>令和元年度は、「新庄小学校」はトーマス・サリー氏、青木沙和氏、「忍海小学校」は松村亜矢子氏、「新庄北小学校」は加藤大志氏、「磐城小学校」は藤村智美氏、花岡伸和氏、「當麻小学校」は伊藤剛臣氏を講師として招き、各小学校5年生を対象に実施した。</p>			
事業対象	市内の小学5年生			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

	事業コスト (単位：千円)	区 分	単位	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業費 ①			1,645	1,700	1,965
		内一般財源			1,645	1,700	1,965
		内国・県補助金					
		内受益者負担					
		人件費 ②					
	総コスト①+②			1,645	1,700	1,965	
実績と成果	事業実績	区 分	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
		対象人数	人	395	400	395	
事業成果	授業を受けてよかった	%	99.24	93.80	100.00		
	授業を理解できた	%	89.57	90.80	100.00		
	自分の夢を考えるようになった	%	81.42	100.00	100.00		

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	○施策目標である「子どもの健全な育成に対する各種支援を行う」に対し授業後のアンケートにて「自分の夢を考えるようになった」が100%の成果を上げており、子ども達の意識改革に貢献できていると考える。 ○同アンケートにて、「夢先生の話聞いて、より一層大事だと思ったこと」に対し「失敗してもあきらめないこと」また、「ゲームの時間を思い出して、大切だと思ったこと」に対し「仲間同士で協力すること」など多くの生徒が前向きな回答をしており、当該事業の目的である「仲間を思いやることや、仲間と協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む」に合致している。			
事業の課題・問題点	効果は十分確認できるが費用(旅費)縮小のために日程の合理化が必要である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	特別授業講師「夢先生」等スタッフの往復交通費(旅費)節減のため、5校でできるだけ連続した日程調整が必要である。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有識者意見	本年度も、施策目標である、「子どもの健全な育成に対する各種支援を行う」は、アンケートの結果を見ると成果が見られ評価できる。しかし、本年度で6年を経過するので、これまでの事業の内容を再検討する必要がある。現在の児童のニーズを的確に把握し、児童にとって有意義であり生涯学習につながるような企画・運営をお願いしたい。 各方面で活躍されている一流の方々が経験を通して児童に「夢を持つこと」「協力すること」を伝えていただく本事業は、通常の学校教育では伝えきれないことを実現する貴重なものです。葛城市に派遣いただいた講師の中にもアナウンサーのトーマス・サリー氏が含まれているように、近年はスポーツ経験者以外の講師も派遣しており、スポーツに偏らない機会の提供となっています。
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	現状のまま継続し、これからも児童のニーズを的確に把握した中でスポーツ教室を実施する。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	4
事務事業名	学校給食事業	担当課名	学校給食センター
係 名	学校給食センター	施 設 名	学校給食センター

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	園児・児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と判断力を養い学校での食育に資することを目的とする。			
事業の内容	<p>葛城市の給食事業は、給食センターから幼稚園5園・小学校5校・中学校2校で、給食数1日約4,200食を調理・配送・回収・洗浄する学校給食事業を実施している。</p> <p>安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するために、献立の作成や食材の選定を行い、学校給食衛生管理基準に基づき、全ての学校給食関係者の衛生管理の意識の徹底を図っている。また、設備機器等の保守点検業務も統一して行っている。</p> <p>食育の取り組みでは、地産地消を推進して地元産の米や野菜への理解を深め、毎月の「給食だより」に旬の野菜等の説明を入れて食への関心を高める。また、食物アレルギーにも対応した給食を提供している。</p>			
事業対象	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	単 位	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			338,666
内一般財源				161,718	164,887	171,226
内国・県補助金						
内受益者負担				176,948	164,799	183,358
人件費 ②				16,944	16,884	22,116
総コスト①+②				355,610	346,570	376,700
実績と成果	区 分		単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	給食材料費	千円	194,034	185,561	206,434
		内市費	千円	17,086	20,762	23,076
		内保護者負担金	千円	176,948	164,799	183,358
	事業成果	給食人数	人	4,138	4,263	4,335
		給食数	食	714,420	680,019	810,645
						人数×187回

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成26年の消費税増税分の値上げ以降は給食費の値上げを行っておらず、市からの助成金により運営を行っている。メニューの工夫・食材のやりくりについての努力を重ね、安心・安全な給食の提供に努めている。 地場産物として、米は葛城市産ヒノヒカリ100%を使用し、はねぎや季節野菜を市内産でまかなっている。また、季節の食材として柿なども使用している。今後も食育の一環として、地場産物や季節食材への理解を深め、積極的に取り入れ、食への関心を高めていきたい。			
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・異物混入対策 ・アレルギー対策 ・地産地消に関する取り組み(安定的な質・量の確保) ・給食原材料費の価格上昇 ・保護者からの学校給食負担金の見直し 			

評価を受けての改善点(過去3年間)	安心・安全な給食の提供を第一とし、アレルギー対応については平成27年9月より乳・卵・エビ・カニの4品目のアレルギー食品についての対応食を実施。調理配送は外部委託で行っている。地産地消については、関係機関との連携を強化して、安定的な供給につながるような組織づくりを図る。米について奈良県産「ヒノヒカリ」を使用している。平成31年1月から奈良県産を葛城市産100%に変え、より身近な食材を使用している。野菜も市内生産者の協力があり、市内産地産率は平成30年度の3%から令和元年度は20%に増加している。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食関係者の衛生管理の意識の徹底及び施設の保守点検業務を常に実施されている。また、食の安全・アレルギー対応及び食育の取り組みを行い、地産地消についても関係機関と連携して安定した供給に取り組んでおり、評価できる。今後、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するためにも、給食費の値上げについて再検討する必要がある。 米の100%、野菜の20%以上が市内産ということで、市内の農産業を支える存在でもある給食事業。基本となる事業目的に対しても十分に貢献していると考えられます。ただ収支の部分で、給食材料費の部分は受益者となる保護者が負担し、その他のコストは市費で賄われるというのが理想とするならば、材料費の受益者負担率88.8%の数値を100%に近づけられるよう負担金の価格改定などが適宜行われるべきだと考えます。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	食の安全・アレルギー対応及び食育に積極的に取り組むとともに、委託業者への定期的な点検を実施し、安全・安心で栄養バランスのとれた美味しい給食の提供に取り組めます。給食材料費は主食・牛乳など切り離せない部分が年々値上がりしています。適正な料金を学校給食運営委員会に諮りながら検討していきます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	5
事務事業名	葛城歌壇短歌大会	担当課名	図書館
係 名	新庄図書館・當麻図書館	施 設 名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	葛城市ゆかりの万葉歌人・柿本人麻呂と、葛城市出身で日本芸術院会員・前川佐美雄の二人の偉大な歌人を顕彰し、短歌のふるさと“葛城”を目指すとともに、日本文化の継承と言語文化の創造を通して、生涯学習の拠点づくりに資する。			
事業の内容	平成9年から始まった事業で、葛城市ゆかりの柿本人麻呂、前川佐美雄の2人の歌人を顕彰し、短歌の故郷「葛城」を目指して短歌を募集している。 令和元年度の出詠者数は1,933名、応募作品数は2,161首で、11月23日(土・祝)葛城市歴史博物館あかねホールにおいて、「第23回葛城歌壇短歌大会」を開き、表彰式と選者による出詠作品の講評を行った。			
事業対象	小学生から大人までの市民をはじめ、すべての人々。			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 元年度 ～ 令和 元年度 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		1,301	1,310
内一般財源			1,143	1,157	1,230	
内国・県補助金						
内受益者負担			158	153	155	
人件費 ②			4,571	3,339	3,500	
総コスト①+②			5,872	4,649	4,885	
実績と成果	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	選者講師謝金	千円	280	280	280
		印刷製本・送料	千円	927	934	885
		短歌講座講師	千円	20	20	20
		各種奨励費	千円	74	76	90
	事業成果	応募者数	人	1,949	1,933	2,000
		応募作品数	首	2,198	2,161	2,200
		大会参加者数	人	73	71	80
短歌講座参加者		人	19	21	25	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">C</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>令和元年度の実績は、平成30年度対比で応募者数、応募作品数ともにほぼ横ばいであるが、高校の部が前年度より微増となった。一方、一般の部の海外、県外応募者は例年より少なく、特に地方の数か所では当事業を支持下さる方の宣伝により応募増の貢献をいただいていたが、支持下さる方の高齢化に伴い従来のような応募増が見込めなくなったこと。そのため、若年・中年層の応募に期待したいが、応募増への期待は見込めない。</p> <p>そのような中、学生の部については、2年前に一人一首としたことで、本年度も応募増である。しかしながら、一般の応募減少は今後も更に続くことが考えられ、また、大会式典を彩る一般の部の入賞者においても参加減少であることから、令和3年度は、事業内容の見直しが必要であると考えらる。</p>			
事業の課題・問題点	<p>応募者および大会における入賞者の参加が年々減少傾向で、令和元年度は選者による講評において、まばらであったことから、応募対象者、大会会場地ともに規模を縮小させる方向で考えたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>数年前に1人2首から1人1首の応募とした学生の部では、本年も例年並みに多数の応募をいただいております。令和2年度は一般の部、児童の部ともに前年を少しでも上回れるよう葛城歌壇の魅力伝えていきたい。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>本年度、応募者数及び大会における入賞者の参加が年々減少傾向である。また、葛城歌壇に関心をもってもらえるよう若年層や小・中学生に対する取り組みがなされているが応募者数は微増であり、一般の応募者数は減少している。この状況を打破するためにも、事業内容の再検討が必要である。また、多くの市民や近隣の市町村及び団体に葛城歌壇「葛城」に関心をもってもらえるよう啓発にも力を入れていく必要がある。</p> <p>市内外の生徒・児童の応募も多数あり、短歌という文化を伝え学ぶ場としては十分に存在意義のある事業だと考えます。ただ前川佐美雄氏の没後30年を迎える中で、大会参加者の高齢化が深刻です。事業を維持するならば他の文化的事業と開催日を合わせて市民総合文化祭のような場を設けるなど、市民に対してより発信する方法を模索するべきではないでしょうか。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>有識者からいただきました意見内容を参考に、事業内容、周知等を改めて課内で検討のうえ、今後「葛城歌壇」が継続事業として多数の方から支持をいただけるよう、職員一同努めてまいります。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	6
事務事業名	読書活動支援・講座	担当課名	図書館
係 名	新庄図書館・當麻図書館	施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	市民に図書館を身近に感じていただき、図書館利用を促進する。 また、読書活動の推進や知識を身につけるため、おはなし会などボランティア団体に対しての支援を行う。			
事業の内容	令和元年度の講座は、大人を対象に「葛城山や二上山に咲く薬用植物」をテーマに、身近に生える薬草について学んだ。子ども対象事業は、「木材を使ったネイチャークラフト工作」を3月に実施開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とした。 また、図書館職員による絵本の読み聞かせ「もぐちゃんと絵本」や「古典絵本を楽しむ会」を開き、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加があった。 さらに、図書館で行う「おはなし会」と、幼稚園・小学校へ出向いて行う「おはなし配達」は、おはなしボランティアと協同で取り組み、子ども達の読書活動の推進に努めている。			
事業対象	市民（大人・子ども）、おはなしボランティア、学校・幼稚園・保育所の先生等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 元年度 ～ 令和 元年度 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		20	20
内一般財源			20	20	40	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			4,299	3,575	3,000	
		総コスト①+②	4,319	3,595	3,040	
実績と成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	子ども向け講座	千円			20
		文学講座	千円	20	20	20
	事業成果	子ども向け講座	人	1,236	754	1,000
		文学講座	人	66	50	30

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>大人対象講座は、「葛城山や二上山に咲く薬用植物」と題して実施、受講者は26名。実施内容は登山道や山々に咲く薬草における名前の紹介と効能について講義が行われた。また、講義中盤では実際に何種類か取った薬草の試飲会も行われ、試飲された受講者は飲みやすさ、飲みにくさを確かめながら講師の説明にうなづいていた。また講義終了後、受講者から講師先生への相談が後を絶たず、引続き次回も同様の講座を行ってほしいと多くの声が聞かれ盛況であったことが伺えた。</p> <p>また、3月に予定していた子ども向け講座は、「木材を使ったネイチャークラフト工作」を実施予定とし10名弱の応募者があったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止とした。「おはなし会」と「もぐちゃんと絵本」は3月の新型コロナウイルス感染拡大防止による中止を除く2月までの参加者は既に500組超えて例年並みの利用。イベント終演後は、多くの親子連れの利用者が多数の絵本や本を借りられることから、当事業の成果が現れている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>この事業の課題は、例年、小学生低学年以下の利用は非常に多いが、中学年、高学年の利用が極端に少ないこと。また年齢が上がるにつれ、来館者も少ない。理由としては、塾やクラブ、近年は図書よりインターネットサイトや動画サイトのような視聴覚によるものが主流のため、活字だけを目で追う動きのない図書はますます敬遠されることである。「活字離れ」の進行を防ぎ、図書への関心をもっていただけるよう、引続き館内外への発信に取り組んでいきたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>前年度は、子どもの読書推進を図るにあたり、ボランティアの協力がカギとした内容でしたが、本年度はボランティア頼みとはせず、新庄・當麻両館職員における日々の努力の成果が表れていると捉えております。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>去年度の課題である大人対象の講座は内容を検討され、成果が表れている。来年度も市民のニーズに合った講座をお願いしたい。子どもの読書推進を図るための取り組みも、十分成果が上がってきており評価できる。しかし、近年インターネット等の社会の変化によって、活字離れが進行している。読書は、人生をより豊かにするためにも必要であり、これからも市民のニーズを把握し、いろんな場面において図書館の啓発に取り組み、気軽に利用できる図書館を目指していただきたい。</p> <p>図書館は生涯学習の根幹をなす施設で、本事業は読書を推進し、学習意欲を創出する取り組みです。事業自体は良い取り組みですが、もともと図書館に興味の無い人を来館に導く手法にはなりきっていません。一般書店が次々と廃業に追い込まれる中で、努力し顧客を獲得している店舗も見られます。時代の変化を理由にせず、図書館離れの理由をもう少しリサーチした方がよいと思います。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>事業実施において、利用者の要望に応えられるよう、アンケート調査も視野にいれながら、市民のニーズを把握し、いろんな場面において図書館の啓発に取り組み、利用者のみならずが気軽に図書館をご利用いただけるような図書館を目指してまいりたいと考えます。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	7
事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	図書館
係 名	新庄図書館・當麻図書館	施設名	葛城市立図書館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	赤ちゃんと保護者が触れ合う機会をつくれるよう絵本を介して、行政と地域が連携して子育てを支援する。			
事業の内容	<p>ブックスタート事業は、健康増進課の4ヶ月児健診時におはなしボランティアの協力を得ながら実施している事業で、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあうひとときを過ごす、そのきっかけ作りを支援する活動である。</p> <p>ブックスタートでは図書館職員が保護者に対し、ブックスタートの趣旨説明を行い、赤ちゃん絵本を1冊プレゼントしている。その後、おはなしボランティアが赤ちゃん一人ひとりに絵本の読み聞かせを行っている。</p>			
事業対象	4ヶ月児健診対象の赤ちゃんとその保護者			
事業年度	■	区分指定無	□	令和 元年度 ～ 令和 元年度 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		239	154
内一般財源						
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			733	526	500	
総コスト①+②			972	680	618	
		区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
		実績と成果	事業実績	ブックスタート	千円	239
事業成果	ブックスタート		組	316	277	320

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	4ヶ月検診時に、赤ちゃんと保護者へ「絵本」と「アドバイス集」一式を直接手渡す本事業は、ブックスタートの意義を説明後、ボランティアの協力による絵本の読み聞かせを実施している。 声と絵に反応を示す赤ちゃんは1人1人違いますが、食い入るように見入る様は、どの赤ちゃんも同じで、保護者も普段見たことがない状況を発見される方もあり、これをきっかけに、絵本を読ませたいという保護者も数多く見受けられた。 また、欠席者へも後日郵送にて「絵本」と「アドバイス集」一式を送付し、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあうひとときを過ごすきっかけ作りを楽しんでもらいたい。 よって本事業での取組が現在、図書館でのおはなし会等への参加に繋がり、絵本等を含む多くの児童書の貸出冊数に貢献している。			
事業の課題・問題点	ここ数年、本事業はボランティア獲得で難航しておりますが、令和元年度は、ボランティア間での事前調整により、無事実施出来たが、ボランティア獲得においては油断できない状況にあり、今後は、生涯学習課のボランティア要請も視野に入りたい。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	「6 読書活動支援講座」と同様、ボランティアを必要とした本事業ではありますが、ボランティアとの調整がつかない状況も事前に想定しながら、担当者が日々読み聞かせの練習を行うなど、努力の積み重ねによる結果、図書館へ足を運んでいただける親子も多く、利用および貸出への貢献しております。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	この事業の目的である、行政と地域が連携して子育ての支援に十分貢献し、成果も上がっており、今後も継続して実施してください。また、この事業を継続していくためにはボランティアの確保及び育成に力を入れていく必要がある。 市外でもブックスタート事業を行っている自治体があり形式も様々ですが、葛城市の取り組みは対象者に直接読書の魅力を伝え、感想まで聞くことができる実のある事業だと評価できます。長期的な継続事業であり、市に出生届を出したほぼ全ての親子にアプローチ出来ていることも行政サービスの平等性を満たしています。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	多くの乳児と保護者が受診いただく当事業を通して、図書館に足を運んでいただける親子も多く、休日には絵本の部屋で乳幼児向けの絵本を読み聞かせいただく保護者を見かけるようになり、その点では事業に対し一定の評価ができることから、今後は当事業継続させていく上で、ボランティアの育成に努めたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	8
事務事業名	成人式式典事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	新成人が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、国民の祝日に関する法律に基づく成人の日に合わせて本事業を行う。大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感するための機会としたい。			
事業の内容	新成人による新成人のための成人式にするために、新成人からスタッフを募集し、企画・運営等について協議を重ね、会場舞台設営や飾り付け等の諸準備も行うなどして、本事業を実施する。			
事業対象	新成人及び新成人関係者			
事業年度	■	区分指定無	□	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		997	860
内一般財源			997	860		
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			3,494	3,686	3,686	
総コスト①+②			4,491	4,546	4,686	
実績と成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	決算額	千円	997	860	900
		スタッフ会議	回	7	9	9
	事業成果	参加者数	人	291	333	333
		対象者人数	人	390	434	434

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>新成人による新成人のための成人式にするために新成人からスタッフを募り新成人自身によるアイデア、企画、運営等について協議を重ね会場舞台設営や飾り付け等の諸準備を行うこととしている。新成人によるアイデアを出していただきながら実現に向けて、事務局との協議のうえ準備実施にいたった。今年度は恩師と新成人の対決と題して、会場にきていただいた方のうち希望者を募りゲーム等に興じながら、参加者全員が親交をあたため、当時に思いをはせる催しとなったと考える。</p>			
事業の課題・問題点	<p>新成人だけの話し合いでは、アイデアは出るが実行に向けての細かい準備作業がなかなか進まず、事務局先行となる傾向がある。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>前年の実行委員のアドバイスを受け、事業実施にむけ改善できるところはおこなった。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>本年度も、行政側のスタッフの経験を活かし新成人のスタッフが活動しやすい雰囲気づくりに取り組んでいただき記憶に残る新成人のための成人式であり評価できる。これからも目標達成に向けて取り組んでください。</p> <p>全国的に成人式がニュースになる中で、葛城市の成人式は健全に行われていると判断できます。さらに事務局サポートの中で新成人が中心となって企画立案することは、これから社会に出たときの責任感を養う良い機会になります。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	<p>実行委員会のメンバーが毎年更新されるという事業の性格上、事務局による情報、経験の蓄積と伝達が最重要課題と考える。事務局が新成人と同じ目線で会議にのぞみ、情報提供、助言を行うことで、引き続き心に残る成人式となるように実行委員会をけん引していきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	9
事務事業名	青少年健全育成事業	担当課名	生涯学習課
係 名	青少年健全育成事業	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	教育・学習による未来の市民づくり		
	施策目標	子どもの健全な育成に対する各種支援を行う		
事業の目的	次代を担う青少年の健全な育成を地域ぐるみで図る。			
事業の内容	市青少年健全育成協議会を組織し、所属団体の校長会・生徒指導主任者会・PTA協議会・県青少年指導員・高田警察署少年補導員の5団体間の連絡調整を行い、下記の活動を推進する。 ①広報・啓発活動の推進(市広報誌への掲載・駅等での啓発活動) ②非行防止と環境浄化運動の推進(遊戯施設等での巡視活動)			
事業対象	市内青少年			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		400	400
内一般財源						
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			1,801	1,780	1,780	
総コスト①+②			2,201	2,180	2,180	
実績と 成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業 実績	会議	回	5	6	6
		研修会	回	2	9	9
		巡視活動	回	2	1	1
		街頭啓発	回	4	4	4
	事業 成果	会議	人	63	70	70
		研修会	人	6	9	9
		巡視活動	人	27	0	10
		街頭啓発	人	114	141	140

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>学校教育に求める保護者のニーズも多様化しているなか、本協議会の活動の推進に当たっては気配りや配慮が重要となってくる。本会会員は限られた時間の中で互いに協力し、課題を直視するとともに寄り添いながらボランティア活動に努めている。毎年7～8月の「青少年の非行・被害防止強調・強化月間」及び11月「子ども・若者育成支援強調月間」に同調した運動を展開し、街頭啓発活動や合同立入・巡回活動を実施している。長続きの可能な、かつ地道な活動を行うことが必要であると考えている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>青少年を取り巻く環境はこれまでもまして厳しく、また生じる事案も多岐にわたり、事案解決に向けての取り組みも難しくなっている。そのため、課題解決に取り組むとともに郷土愛や伝統文化を大切に地域資源を発掘し、地域ぐるみで子どもの成長を育む活動を今まで以上に進めなければならぬと考える。青少年の生活支援をするための活動や啓発活動は市青少年健全育成が中心となって取り組んでいいるが活動の困難さも垣間見れる。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>葛城市子ども・若者地域支援協議会、生活安全推進協議会等、関係諸機関と連携を図りながら、新しい時代に即した支援に努め、地域の教育力向上の一翼を担いたい。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>近年青少年を取り巻く環境の変化に対応していくために、5団体の組織だけでは啓発活動及び巡視活動等だけでなく、子ども・若者サポートセンターや地域のいろんな団体やグループに対して、情報提供や啓発をすることによって、地域を巻き込んだ活動が必要になってくる。そのためにも、情報の共有が出来るよう情報発信の場を持つ必要がある。</p> <p>市内には遊技場など重点巡視対象施設は現在無いが、夜間営業を行っているコンビニなどにも活動対象を広げており、地域ぐるみでの青少年健全育成活動推進に貢献している事業です。近年はSNSなどにより青少年の問題を発見し難くなってきているので、時代に応じた活動も必要かと思われます。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>令和2年度の『「青少年の非行・被害防止運動」奈良県実施要項』にも、最重要課題として「SNS利用に係る子どもの性被害等の防止」が挙げられている。関係機関との情報共有体制の構築を推進するとともに、時代に即した啓発活動を行えるよう取り組んでいきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	10
事務事業名	学校・地域パートナーシップ事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～				
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養				
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する				
事業の目的	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図り、地域住民と生徒との異世代交流を通して地域の連帯感を高める。					
事業の内容	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図るため、市内各小・中学校に学校支援地域コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアの派遣等を行いながら環境整備支援活動等を中心に支援を行っている。					
事業対象	市民及び市内小中学校教員					
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和	～ 令和	間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		2,974	2,575
内一般財源			1,432	951	1,400	
内国・県補助金			1,542	1,624	1,600	
内受益者負担						
人件費 ②			2,242	2,131	2,131	
総コスト①+②			5,216	5,217	5,218	
実績と 成果	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業 実績	運営委員会に係る経費	千円	391	378	402
		教育支援活動に係る経費	千円	2,583	2,195	2,598
	事業 成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	食育やミシンなど家庭科支援、環境整備、社会見学の引率、登校支援、学校行事への参加等、協力いただいている。また、コーディネーターには連絡会議を定期的に行い、常に情報交換を図りながら各学校の課題や進捗状況等の意見交換、交流をはかり、学校間でも協力関係を築いている。			
事業の課題・問題点	新たな地域コーディネーターの育成と、ボランティア登録数の拡充が課題である。学校によってコーディネーターとの関わりに温度差が見受けられボランティアの募集にも影響を及ぼしている。また、コーディネーター、ボランティア共に高齢化が進んでおり後継者の育成が急がれる。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	コーディネーター間の連携を密にし、積極的にお互いの学校の情報共有を図ることで事業内容の把握に努め、協力推進を図っている。ボランティアの協力調整をはかる業務の負担が大きいとのことから、コーディネーターを補佐する役割を担っていただけるボランティアの育成が急務である。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有識者意見	事業の目的でもある、学校教育の充実及び地域住民と生徒との異世代交流に於いては十分成果が上がっているが、地域・家庭の教育力の向上については、成果が見えにくい。地域とともにある学校を目指すためにもこの事業は重要であり、活動内容も多様化してきているなか、今後コーディネーターの発掘及び育成に力を注いでいくことが重要である。 地域の人材が持つ知識・経験を次世代を担う子どもたちへと活用・継承する事業で、毎年実績を重ねている。課題・問題点にあるようにコーディネーター・ボランティアの人格と技量に依存している比率が大きく、人材育成が常に課題となっている。かといってこの募集・育成においても教育委員会が率先して行っているわけではないので、せめて募集する枠組みだけでも構築した方が良いと考える。
-------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	学校と地域との連携が深まり、認知度も向上していると考え。今後とも事業を実施していくとともに、最重要課題となっている地域コーディネーターの後継者育成に力を入れ、安定した事業運営を目指す。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	11
事務事業名	生涯学習まちづくり推進大会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	主に市内の小・中学校生の日頃の思いを発表する場とモデル分館(毎年2館指定)が、1年間の生涯学習活動の成果について発表を行う場として本事業を捉えており、明るく楽しい「生涯学習まちづくり」の推進を目指している。			
事業の内容	①令和元年度モデル分館として指定を受けた木戸集落センター及び尺土団地集会所による生涯学習活動発表 ・伝統文化の紹介、地域文化継承及び文化資源の保存等や地域防災活動の取組 ・花いっぱい活動や講座・教室等を通じた区民の交流の機会・場づくりを目指した取組 ②モデル分館指定を受けている2分館の区民による教室、講座等において作成の絵画、手芸作品、写真等の展示 ③市内小中学校児童・生徒による学校での体験学習や生活発表的な作文の朗読 ④菊花展表彰式			
事業対象	市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 令和	～ 令和	間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		500	500
内一般財源			500	500	500	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			2,242	2,131	2,131	
		総コスト①+②	2,742	2,631	2,631	
実績と成果	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	参加人数	人	592	437	500
	事業成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	令和元年度にモデル分館と指定された2館による、各地域における伝統文化や催事の取組等の紹介が行われ、生涯学習活動を通じて地域住民の交流を図る良い機会となっていることに加えて、和太鼓蓮花による演奏、小中学校生の作文発表や文化団体の表彰など、貴重な体験発表をすることができる機会を得る事業と考える。			
事業の課題・問題点	令和2年度についても例年どおり輪番での2館で予定しているが、発表について当該分館ならではの特別な事業を行うのではなく、実情に応じた発表をしていただくことで、地域のつながり、連帯感をさらに確認していただけるよう説明が必要である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	毎年、年度当初に指定した分館へ説明会に赴き、過去の分館の発表等を紹介しながら地域の人々が各種行事や歴史、生活様式などを通じ、希薄になりつつある地域の住民と取り組むことの重要性を理解していただき、地域の良さを再確認していただく機会を提供する。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	この事業のメインであるモデル分館の生涯学習活動の発表が、令和4年ですべての分館の発表が終わる。地域住民の交流の場になっているのは確かなことではあるが、年々参加人数が減少傾向にある。このことを踏まえて今後、事業内容を再検討するとともに、地域住民に向けての啓発活動にも力を注いでいく必要がある。 モデル分館事業は令和4年で一巡を終え、菊花展は高齢化によって出品数が減少しています。薄れつつある地域住民の交流を促す良い事業ですが、事業のモデルチェンジの時期が近づいていると感じられます。事業を維持するならば他の文化的事業と開催日を合わせてより多角的な市民総合文化祭のような場を設けるなど、市民に対してより発信する方法を模索するべきではないでしょうか。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	令和4年度ですべての分館の分館モデル活動の発表が終了する。地域住民の活発な交流の場となっていると感じているが、今後は従前の形のまま継続して実施するのか、形式を変更して実施していくのか等、住民のニーズを把握し、理事者とも協議を重ねて検討していく必要がある。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	12
事務事業名	葛城アートフェア事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	葛城市の芸術文化のより一層の振興を図るとともに、芸術文化を通じ市内外の住民の交流・地域の活性化を図り、「魅力あるまち葛城市」の発信を目的とする。			
事業の内容	全国より様々なジャンルの芸術作品を募集し、當麻寺を中心として、周辺ギャラリー、古民家、公共施設等に、作品を展示。また、応募作品の展示だけでなく、著名な作家の企画展示、ワークショップ等アートをキーワードとして開催している。			
事業対象				
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		3,000	2,999
内一般財源			3,000	2,999	3,000	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			5,604	4,175	4,175	
総コスト①+②			8,604	7,174	7,175	
実績と 成果	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業 実績	決算額	千円	3,000	2,999	3,000
	事業 成果	来場者数	1日当	1,391	895	1,000
		総入場者数	5日間	6,695	4,476	5,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	C	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	2019年については、実行委員会のメンバーが新しくなり、新たな試みを行ったが決定時期がずれて広報期間も短期間であったためか、来場者数は過去最低であった。出品者数は県内外より過去4回とほぼ横ばい。準備期間が短かったため、市民の出品、参加をはかるため各小中学校や各種団体などに協力依頼をおこなったが、広報周知については例年より時期も遅くなり露出も少なくなった。			
事業の課題・問題点	集客数は5日間開催でも減少しており、文化協会、職員の協力動員をかけて実行委員会形式で行ってはいるが、実稼動は一部の実行委員と現課職員となっており負担は増えてきている。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	今後は アートに特化するならば展示だけでなく、ワークショップを各方面の専門家により充実させ市民参加型で當麻寺、ゆうあいステーション辺りでコンパクトに歩いて回れる地域に会場を設置するべきである。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	市単独事業となって本年度で2年目になるが、去年度より来場者数が大幅に減少した。決定時期が遅れたこともあるが、事業目的である「魅力あるまち葛城市」の発信に向けて、事業内容の見直しが必要である。 令和元年は実行委員会の改変があり、初動が遅れたため後手後手にまわったところがあります。とは言え、市内外からレベルの高い作品応募が有り、アーティスト側には年次を重ねてある程度事業に対する認知が定着していると判断できます。問題は集客の面で、大きな話題性を欠き年々来場者数の減少が見受けられます。アート系の情報はSNSなどの方が拡散しやすく、出演者や来場者を巻き込むような広報展開を試行錯誤するべきかと考えます。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	令和2年度の事業は、新型コロナウイルスの影響により開催を断念した。 令和3年度に向け、時間をかけて事業の内容を検討し、従前とは違った観点・手法を用いて集客力の向上に努める。また、情報発信の手法も再検討し、SNSのみならず、様々な手法を検討していく。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	13
事務事業名	公園まつり実行委員会業務	担当課名	中央公民館
係 名	中央公民館係	施 設 名	中央公民館

(計画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	地域住民が集う中で、市民ひとりひとりが仲間としての絆を強め、地域文化への理解をより一層深めることで誇りをもった活力あるまちづくりへの参加を目的とする。			
事業の内容	葛城市公園まつり実行委員会を主催者として、葛城市体育協会および区長会をはじめとする約21団体の協賛により屋敷山公園一帯で野外イベント（和太鼓や踊り、ジャグリングパフォーマンスショー、演劇、フラダンス、吹奏楽等）を実施するとともに、模擬店、フリーマーケットの出店、盆栽の展示即売会、似顔絵、古本市にニュースポーツなどを同時に行う。			
事業対象	市内地域対象住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 令和	～	令和 間

(実施内容)

	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業コスト	事業費 ① (千円)		1,465	1,419	1,600
		内一般財源(千円)		1,465	1,419	1,600
		内国・県補助金(千円)				
		内受益者負担(千円)				
		人件費 ②		2,563	2,056	2,671
		総コスト①+②(千円)		4,028	3,475	4,271
実績と 成果	区 分		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業 実績	決算額	千円	1,465	1,419	1,600
		企画運営委員会	回	1	2	1
		実行委員会	回	1	1	1
	事業 成果	参加人数	人	8,000	11,000	10,000
		協賛団体	団体	21	21	21

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成25年度から毎年5月3日開催に固定したことにより、市民のみならず市外の方々にも定番行事として広く知られるところとなり、多数の来場者で賑わった。また、終日好天にも恵まれ、野外イベントをはじめ模擬店、フリーマーケットも大盛況で、非常に盛り上がった。			
事業の課題・問題点	昭和50年から40年以上続いている伝統ある事業であるが、毎年の開催であるため、文化活動の発表の場を確保しながら集客できるイベント内容にする工夫が必要。 また、協賛願っている各種団体の方々には、公園まつりの他の催し物等にも参加して楽しいひと時を過ごしていただけるよう、運営体制を改善していかなければならない。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	会議の回数を増やし、出店場所変更等の協議をして工夫する事により、来場者の人の流れをかえるとともに、マンネリ化を改善し、会場全体で楽しんでもらえるようにした。 実行委員会が中心となり、関係団体がより良くする工夫をしている。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	定番行事として、市民も楽しみにしている事業である。毎年、実行委員会が主体となって関係団体に働きかけ円滑に事業が実施され充分評価できる。しかし、多くの来場者で賑わうため、パンフレット等に救護の場所や緊急時の連絡先の記入をするなど、不慮の事故等に対応できる体制づくりが必要である。 屋敷山公園整備開園以来、40年間毎年開催しており伝統行事化してきた感があります。年次を重ね問題を少しずつ解決していて、渋滞などに対する近隣対策も功を奏しています。本年次も出店場所の位置の変更など若干の工夫が見られます。マンネリ化を是とするのか非とするのか意見の分かれるところ です。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	市民の活力あるまちづくりへの参加を推進するために、実行委員会が主体となって参加しやすく協力しあえる体制づくりが必要になると考えます。そのために、公園まつりの定番行事としての長所を活かすとともに、安全対策や会場レイアウト、イベントプログラム等について、協議し、改善しながら継続していきたい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	14
事務事業名	地区館教室・講座事業	担当課名
係名	地区館係	施設名
		中央公民館（当麻文化会館）
		5地区館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～				
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養				
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する				
事業の目的	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味を同じくする人々や教養を身につけたいと思う人々が地区館に通い、自主的な活動を推進する機会を提供するとともに、交流を深め、活動の輪を広げる。					
事業の内容	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味や興味を同じくする人々が身近な地区館に集い、学習する活動を支援するとともに交流を深める機会を提供する。 疋田、忍海、北花内、磐城、当麻の5地区館で絵画等13教室、俳句の1講座を開講し、教室は6回～20回の実施、講座は6回実施で開講している。 開講にあたっては、毎年3月の『広報』とともに各戸配布する『教室・講座ガイド』に掲載し、受講生の募集を行っている。					
事業対象	市内 在住・在勤者					
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～ 平成	間

(実施内容)

		区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
事業コスト	事業費 ① (千円)			1,160	1,097	1,214
	内一般財源(千円)			1,160	1,097	1,214
	内国・県補助金(千円)					
	内受益者負担(千円)					
	人件費 ②			1,766	2,135	2,490
	総コスト①+②(千円)			2,926	3,232	3,704
実績と成果	区 分		単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	各種教室・講座	総回数	133	125	115
	事業成果	参加人数	人	250	227	209

※新型コロナウイルスの感染防止のため、平成31年度3月の講座を中止したため、12回の教室が減っている。令和2年度の4月・5月の教室講座も中止したため、令和2年度目標回数より15回減っている現状である。今後も実施できない可能性が考えられる。感染を恐れて、開講前に辞退された方もおられる。

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>身近な地区館・分館において生涯学習教室・講座を開催することで気軽に参加受講でき学習意欲の向上と生涯学習の進展に大きく寄与している。</p> <p>料理・絵手紙・太極拳・パッチワークの4教室で講座開始後、及び終了前のそれぞれ15分～20分間程、また、書道・ちぎり絵の2つの教室については終了までスタッフが同席し講師とも協力のうえ教室の支援をきめ細やかに行うとともに、受講者のニーズの把握に積極的に努めてきた。受講者が学習していく過程において、他の受講生との繋がりをもちながら「学ぶ」という共通項のもと人間関係が築かれ、教室に一体感が生じ、教室・講座をより楽しいものと考えていただくことで学習効果があがっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>毎年継続して受講しておられる方が多数あり、教室・講座での学びを楽しみにされている。同時に学び仲間ができ、その方たちとのふれあいにも楽しみにされている。一方、新しい受講者と習熟度に違いが生じている教室・講座もある。また、新講座・教室開設や実施回数増加等の要望もあるが、受講者数が見込めるのか、予算と場所の関係などもあり、引き続き検討課題事項である。定員をオーバーした教室・講座もあるが、いずれも僅数であり、講師の好意と受講者の理解により実施することができた。受講希望者増にどう対応していくのか、今後の課題点である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成30年度、受講者の学びのニーズに応えるべくパッチワーク教室の学習回数の増加を図った。北花内で茶道教室を閉じ、生け花教室を新しく開講した。令和元年度は、俳句講座の回数を昨年度までの4回から6回に増やし、受講者のニーズに応えるようにした。令和2年度においては、北花内の民謡教室が3年の期間が過ぎ閉講したので、新たにプリザーブドフラワー教室を開講することにした。疋田の手芸教室は、講師の関係で、回数を9回から6回に減らした。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>地域において趣味を同じくする人々が交流を深め、活動の輪を広げるためにも、公民館によって各教室や講座数の偏りをできるだけ解消する必要がある。そして、地域住民が気軽に参加でき、学習意欲の向上と生涯学習の進展に寄与していくための身近な地域の公民館活動に取り組んでください。</p> <p>募集定員に対して7～8割以上で各教室講座が運営されており、適切な運営実績といえます。中央公民館・當麻文化会館の教室・講座事業と相互補完関係にあり、市民に十分な生涯学習の機会を提供しています。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた担当課意見・数値目標等)</small>	<p>講座を通して趣味を同じくする仲間と交流を深め、学ぶ楽しみや喜びを共有し合える機会を提供することは、市民の身近にある公民館の大きな役割であると考えている。従って、地区館ごとの講座数の偏り等の見直しを図りながら、今後も事業を継続していく。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	15
事務事業名	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	担当課名	中央公民館・當麻文化会館
係 名	中央公民館係	施設名	中央公民館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	市民等の教育、学術、文化及び教育向上のため、「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。			
事業の内容	<p>『社会教育法』第20条(目的)、第22条(公民館の事業)ならびに『公民館の設置及び運営に関する基準』第3条(地域の学習拠点としての機能の発揮)に基づき、市民等の教育、学術、文化及び教養の向上のための「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。</p> <p>1. 中央公民館では、 7教室 成人5：華道、きもの着付け等、子ども2：絵画、茶道 24講座 成人14：菊づくり、ガーデニング、暮らしのマナー 等 子ども10：親子クッキング(土・日)、親子お菓子・パンづくり(土・日)、親子陶芸(土・日)、野外活動体験 等</p> <p>2. 當麻文化会館では、 27講座 成人25：絵画、男の食卓等(9)、1日講座(6)、タブレット講座 前・後期(10) 子ども 2：親子おもしろ工作(2) を開講。</p> <p>開講にあたっては、毎年3月の『広報』とともに各戸配布する『教室・講座ガイド』において、市民に周知するとともに、受講生の募集を行っている。</p>			
事業対象	市内在住者・在勤者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
事業コスト		事業費 ① (千円)		4,263	4,454	4,673
		内一般財源(千円)		4,263	4,454	4,673
		内国・県補助金(千円)				
		内受益者負担(千円)				
		人件費 ②		10,626	8,630	11,054
		総コスト①+②(千円)		14,889	13,084	15,727
実績と成果	事業実績	区 分	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
		中央公民館	謝金	2,973	3,071	3,347
		當麻文化会館	謝金	1,290	1,383	1,326
		合計	謝金	4,263	4,454	4,673
	事業成果	中央公民館	受講者数	3,821	3,910	3,728
		當麻文化会館	受講者数	1,705	1,837	1,501
		合計	受講者数	5,526	5,747	5,229

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	学習の促進とふれあいの場を提供することを目的に、成人・子ども・親子を対象とした各種教室・講座を実施している。 成人講座では、華道、茶道、書道、料理、着付け、ヨガ、パソコンといった 趣味や教養を活かした講座を、子ども・親子講座では「作る楽しさ」を学ぶ、料理やパン・菓子づくり、陶芸を開催した。 また、夏休みには子ども向けのイベント講座として、野外活動体験、寺子屋を開催したり、どの講座も人気で、受講者の受講意欲や関心が非常に高く、親子対象講座を中心に多くの講座が抽選となっている。			
事業の課題・問題点	教室・講座は受講料が無料(教材費等は受講者負担)のため安易に捉えられる向きがあり、同じ教室や講座を毎年受講される方が見受けられる。講師の高齢化(健康面)、応募者の数の減少や高齢化など問題点がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成30年度は、1日講座5講座うち竹細工講座を除く4講座を廃止し、新たに4講座を設けた。定期講座では、応募の少なかったドイツ装花講座を廃止し、はじめてでもできるマジック講座、体と心の健康体操を設けた。令和元年度は、新しい講座の開設を望む声を反映して、1日講座に四季の和菓子づくり講座を増やした。また、パソコン講座は新しいパソコンの入れ替えができなかったため閉講した。パソコン講座に変わり、令和2年度より本格的にタブレット入門講座を開講する。(令和元年度は試行としてタブレット入門コース2講座を開講した。大変好評であった。)
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	本年度もアンケート調査等で市民の学習ニーズを的確に把握して、教室・講座の精選を行い、誰でも気軽に参加できる教室・講座の実施に取り組んでいて十分評価できる。今後いろいろな情報を収集し、学習活動の支援に取り組んでください。 長期的な教室と短期的な講座を組み合わせて運用し、生涯学習の入口という面で様々なニーズに応じています。内容も時代に応じて変更し、適切な設定がなされています。募集減・高齢化が問題点に上げられていますが、おそらくは告知の面で紙媒体・放送での告知という手法が、新たなターゲット世代に合っていないのかもしれない。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	生涯学習を支援しながら、仲間づくりなど交流の機会を提供するために、ニーズを把握しながら、教室・講座の更新を考えていきたい。また、告知方法について、ホームページの活用方法等について検討していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	16
事務事業名	文化振興事業	担当課名	新庄・當麻文化会館
係 名	総務係・文化会館係	施設名	新庄・當麻文化会館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	生涯学習による豊かな心の涵養		
	施策目標	芸術活動・文化活動を奨励し、市民の文化を形成する		
事業の目的	市民に質の高い文化に触れる機会を設け、葛城市芸術文化を発信し、創出する。			
事業の内容	<p>魅力ある文化芸術鑑賞事業・市民参加型事業を展開することにより、良質な芸術・文化に触れる機会や、自ら参加する喜びを体感する機会を市民に提供し、地域の文化水準の向上に寄与することを目的としている。</p> <p>令和元年度は、新庄文化会館では、宝くじ文化公演事業や三井住友海上文化財団からの助成を受けて、「朝倉さやfeat. 中孝介ジョイントコンサート」「池田直樹50曲リクエスト・コンサート」を実施した他、親子向け公演「ケロポンズファミリーコンサート」、昨年度好評を得た講演会の第2弾「夏井いつき句会ライブ」、新たな分野への試みとして「HARAイリュージョン・マジックショー」を開催。ジャンル、対象層共に偏らないように工夫した事業を行った。また、市民参加型事業として、毎年恒例の「風塾」定期公演、「J-POPのど自慢大会」を実施。友の会還元イベントの側面を持つ「よしもお笑いバラエティショー」は、開催を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>當麻文化会館では、ファミリー向けの心温まる作品を上映する映画鑑賞会の他、市民参加型事業として、市民劇団「ロリポップ」「Ensemble Wiz」「チアダンススポーツクラブ葛城」がコラボした夕涼みコンサートを実施した。また、第1回となった「かつらぎバンド」も好評を得た。さらに、「Ensemble Wiz」によるクリスマスコンサートも開催。市民劇団『くすのき』定期公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>			
事業対象	市民及び近隣市町村の住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 元 年 ～ 令和 元 年 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業費 ①		25,120	13,209	12,759	
	内一般財源 内国・県補助金 内受益者負担		16,463	9,508	8,909	
			8,657	3,701	3,850	
			8,657	3,701	3,850	
	人件費 ②		11,145	11,130	8,990	
総コスト①+②		36,265	24,339	21,749		
実績と成果	区 分		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	自主事業入場料	千円	8,550	3,622	3,700
		自主事業委託料等料	千円	20,287	8,660	8,700
	事業成果	自主事業入場数	人	4,557	3,682	3,650
		自主事業(有料)開催数	本	4	5	2
自主事業(無料)開催数		本	7	6	6	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	新庄文化会館では、声楽家によるコンサートやイリュージョンマジックショーなどマルベリーホール史上初となる事業を開催した。また、宝くじや三井住友海上文化財団の助成を受けることで、一般財源に頼らない努力をした。 又、當麻文化会館でも、かつらぎバンドと称して、市内で60歳以上の方々が高年音楽活動をされているバンドに出演いただき、活力をいただいた。夕涼み会やクリスマスコンサートも毎年楽しみにしていただいている。			
事業の課題・問題点	市民への広報・周知の方法が課題となっているため、令和元年度より、SNSによる周知も始めた。また、チケット販売システムの導入に伴って、チケットのWEB予約も出来るようになった。 しかし、まだまだ市民のみなさんへの周知には至っていないので、更なる努力が必要となる。 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響がいつまで続くかわからない状況で事業をどのようにやっていくかが問題となっている。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	キャパシティの面から事業の採算を取ることは難しいが、助成金の活用等で、市民の方にひとつでも多くの事業を提供できるようにした。しかし、知名度のないゲストでは、集客がかなり厳しかった。今回、地元のコーラスクラブの共演をしてもらうことで、その人たちの口コミに助けられたが、やはり広報・周知の方法をさらに強化するように検討を重ねる。
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	この事業はキャパシティの面から採算を取ることは難しい状況ではあるが、助成金等を活用して、企画・運営するとともに啓発活動にも力を入れ、十分評価できる。本年度新型コロナウイルス感染拡大防止の為実施できなかった友の会還元イベントを来年度も計画し、安定した集客数の確保に向けて「友の会」の取り組みにも力を注いで頂きたい。 コロナウイルス感染拡大の影響で年間入場者数が減少しています。会場の収容者数の限界によって採算性を求めるには限界がありますが、各種助成金を受けて事業を実施するなど工夫が見られます。withコロナでしばらくは厳しい状況が続くと思いますが、良質な芸術・文化を葛城市内で提供する有益性を考え、工夫しながら取り組んでいくべき事業だと考えます。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	コロナ禍において文化会館は今後、新生活様式を取り入れながらの運営をしていくこととなり、ますます採算性は厳しい現状となる。しかし、今後も助成金等の活用をしながら、良質な芸術・文化を市民へ提供出来るよう工夫して事業を継続していくと共に、友の会の充実を図り安定した集客数の確保に向けて努力する。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	17
事務事業名	展示（常設展・特別展等）事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	調和・共助～多種多様な価値観が共存するまち～		
	政策目標	歴史・文化と調和的な地域づくり		
	施策目標	歴史や文化の保護・活用を図る		
事業の目的	近年、市民の地域の歴史・文化に対する関心が薄くなってきており、また知る機会も少ない状況にあることから、合併により生まれた葛城市の歴史や伝統文化を伝えていく必要がある。この葛城地域の歴史文化を特別展や常設展などの展示会を通してわかりやすく解説・紹介し、市民の愛郷心を育てていくことを目標としている。			
事業の内容	展示会（年間企画展2回・特別展1回）の開催、展示図録等の発行。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			2,547	2,717	3,769	
		内一般財源		1,764	1,586	2,899	
		内国・県補助金					
		内受益者負担		783	1,131	870	
		人件費 ②		4,682	6,703	6,120	
		総コスト①+②		7,229	9,420	9,889	
実績と成果	事業実績	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
		入館料	円	328,490	412,890	370,000	
		図録売上	円	454,450	718,450	500,000	
	事業成果	入館者数	人	4,030	4,871	4,000	
		(開催中入館者)	人	(1,980)	(2,836)	(2,000)	
		図録売上	冊	987	1,571	1,000	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>第1回目は特別陳列として「當麻寺西塔の舍利容器」を展示し、修理中の當麻寺西塔から発見された貴重な舍利容器をはじめ舍利莊嚴具は、奈良国立博物館へ見学に行けなかった多くの市民や遠方からの多数の来館者があり、大変好評であった。</p> <p>第2回、第3回の展示は、例年開催の企画展・特別展として、「葛城山麓の古墳」をテーマに開催した。この2回の展示会は、時代の流れとともに葛城市内のすべての古墳について網羅できるよう構成されており、専門的な分野においても大変評価が高く、前年度を上回る入館者数となった。</p> <p>1人の学芸員で開催する展示会は準備期間等を考えると年2回が限度であるが、今回のように質の高い展示会を開催することで、前年度開催の3回の入館者を上回ったことは、大変高い功績であった。</p>			
事業の課題・問題点	<p>①平成30年度から、学芸員1名が体調不良により休職の状態が継続しているため、引き続き1名の学芸員が、展示会業務を準備し開催している状況がある。</p> <p>②学芸員1名での企画は、専門分野が偏り、幅広いテーマでの展示が困難である。</p> <p>③当館は、登録博物館として、展示会のみならず普及事業としての歴史講座、学校への教育普及、文化財保存、発掘調査等の業務があり、専門的知識を備えた学芸員が行う必要があることから、現状においても、また後継者の育成においても、博物館の存続には、一定人数の学芸員が必要であるため、学芸員の増員と後継者育成の人事配置について、引き続き検討が必要である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>1名の学芸員が企画する展示会は、専門分野に特化したものとなり、テーマにおいて、多くの来館者のニーズに応えきれない現状があるものの、1年を通してストーリー性のある展示とするなど、工夫することで、来館者増の成果があったことから、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>毎年工夫を凝らした展示会及び啓発活動に力を入れ、安定した入館者数を維持されており評価できる。市民が地域文化等にふれ、愛郷心を育むためのこの事業は必要であり、これからも市民のニーズを把握し、目標達成に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>事業費収入における受益者負担の割合が増加してきており、良い傾向にあると判断できます。展示についても少ない学芸員の穴を埋めるべく努力していただいています。奈良県内でも特化した博物館なので、市外からの校外学習などにさらにもっと利用されるようになれば、館の価値が高まると思います。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針	<p>博物館の主要事業である展示会については、市民が地域の歴史文化にふれ、さらに愛郷心を育める場となるよう、またより多くの方々に観覧していただけるよう、展示内容等の工夫を重ねながら、今後も事業を継続してまいります。</p> <p>博物館の教育普及活動においては、小・中学生のよりよい歴史学習の場となるよう、教育機関と連携のうえ、積極的に協力してまいります。</p>	
<p>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標 等)</p>		

教育委員会事業評価シート

		事業No.	18
事務事業名	歴史講座開催事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施 設 名	歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	調和・共助～多種多様な価値観が共存するまち～		
	政策目標	歴史・文化と調和的な地域づくり		
	施策目標	歴史や文化の保護・活用を図る		
事業の目的	歴史講座等を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	葛城地域の歴史文化や新しい歴史研究の成果について本講座において、わかりやすく紹介することにより、地域の歴史文化への理解を更に深めると共に、市民の愛郷心を育むことを目標に、歴史文化講座「葛城学へのいざない」を年間13回にわたり開催。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業費 ①		60	50	100	
	内一般財源		60	50	10	
	内国・県補助金					
	内受益者負担					
	人件費 ②		4,587	5,081	5,059	
総コスト①+②		4,647	5,131	5,159		
実績と成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	講師	人	14	13	14
		講師報償費	円	60,000	50,000	100,000
	事業成果	参加者数	人	1,324	1,452	1,400

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>平成31年度の歴史講座については、「葛城地域の古墳」から読み解く時代背景と関連する古墳、遺跡をテーマに13回にわたり開催。参加者数は、台風や新型コロナウイルス感染拡大防止による開催中止等があった中においても、前年度を上回った。当講座は、継続した出席者が多く、市民のニーズ・施策目標実現に貢献できていると考えられる。</p> <p>また、主な経費である講師謝金については、約半数を当館職員が務めていることと、博物館ネットワーク内の学芸員が相互協力により講師となっただくことにより、経費の削減に努めている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>毎年十数回開催する歴史講座において、テーマと講師選定に苦慮しているところであるが、他館にない独自性のある講座の開催は、現在も多くの参加者の出席をいただいていることから、継続して開催するために、葛城市の歴史における新しい学説や新規講師について、ネットワークを通じた情報交換と特に市民の関心を高められる内容となるよう研究する。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>興味が薄い市民へのアプローチとして、広報かつらぎで、常設展示品について1点ずつわかりやすく紹介した解説を追加するなど、博物館に向かい添えたい。</p> <p>今後は、来館時に親しみを持って学んでいただけるようさらに工夫していきたい。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>本年度も、市民の興味・関心を高めるような講座を実施するとともに博物館ネットワークを利用し、経費削減に取り組み十分評価できる。今後、啓発活動に力を入れ、興味の薄い市民が気軽に受講できるような講座の開設に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>夏休みの親子を対象とした講座が中止、かつコロナ禍で開催回数が減少しているにもかかわらず、昨年以上の来場者を動員しています。博物館ネットワークを活用し、独自性が有りながら毎回テーマを変えて講座を開催するなど工夫がなされていて、少ない事業費で確実に成果を生み出しています。</p>
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>郷土の歴史文化に焦点をあてた講座の開催を継続しつつ、さらに、市民のニーズを探求し、興味を持って参加していただける講座内容の工夫と市内来館者数増を目指してまいります。</p> <p>親子歴史講座については、〇〇づくりなどの体験やクイズなどで楽しく歴史を学べる、とりわけ多くの子供たちの愛郷心を育むことを目指した講座となるよう取り組んでまいります。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	19
事務事業名	埋蔵文化財等調査事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係 名	文化財係・歴史博物館	施 設 名	教育総務課・歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	調和・共助～多種多様な価値観が共存するまち～		
	政策目標	歴史・文化と調和的な地域づくり		
	施策目標	歴史や文化の保護・活用を図る		
事業の目的	市内地域の埋蔵文化財の保護。			
事業の内容	<p>市内遺跡内で開発工事が行われるのに際し、市民等より事前に提出される発掘届出書を県教委へ進達する。それについて県教委から通知される指導事項に従い、市の担当職員が現場にて発掘調査や現場立会等を実施し、調査結果終了報告書等を作成し、県教委へ提出する。また、市内遺跡の範囲確認・保護等のための発掘調査や、記録保存等のための発掘調査を市教育委員会が主体となって実施し、詳細な調査記録をまとめた報告書を作成し、国・県へ報告すると共に各研究機関にも配布し、埋蔵文化財の保存・研究・活用のために資する。</p>			
事業対象	一般事業者・市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業費 ①		2,000	2,000	2,165	
	内一般財源		500	500	500	
	内国・県補助金		1,500	1,500	1,500	
	内受益者負担					
	人件費 ②		4,292	4,968	4,060	
	総コスト①+②		6,292	6,968	6,225	
実績と成果	区 分		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	調査事業	件	10	6	10
		立会等	件	4	8	10
		届出(通知)	件	61	91	60
	事業成果	調査地	場所	地光寺跡	地光寺跡	地光寺跡

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>埋蔵文化財発掘調査事業については、開発に伴う緊急調査のほかに、市内における重要な埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の分布範囲確認やその遺跡の性格を把握するなどし、遺跡保護のため国・県の補助を受けて毎年継続して実施している。</p> <p>平成31年度においては、笛吹地内の古代寺院である地光寺西遺跡の南部地点において範囲確認調査を実施し、塔跡である地覆石の一部を確認できたことにより、正確な測量による範囲確認調査が実施できた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>市内には多くの有名な遺跡が市内に点在しているものの、現在、埋蔵文化財の発掘調査に対応できる職員は1名で、博物館の学芸員業務と兼務しており、埋蔵文化財の調査・研究に対応できる時間が限られていることから、県内他の市町村に比べて、非常に不十分な人員であることが継続した課題となっている。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>業務内容について、限られた経費と時間のなかで最大の成果が得られるよう、事業に取り組んでいるところであるが、調査業務に対応できる技術職員の増員について要望しているものの、現時点において改善はできていない。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>市内には多くの遺跡が点在しているため、将来的に埋蔵文化財を保護していくためには、人事面において専門職の増員・育成及び人員の増加は最優先課題である。</p> <p>市内の開発が年々進行し、開発工事が増加するに従って事業負担が増えていきます。前年度実績でも届出件数が1.5倍、立会回数が2倍に増加しており、今後の葛城市の発展に対して体制がどこまで間に合うかが心配です。専属職員ではなく、考古学専門の博物館学芸員が兼務している状況なので、早急な人員増が必要です。</p>
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>埋蔵文化財の発掘調査等の業務は、本市のまちづくりにおいては欠くことのできない事業である一方で、調査業務に携わることができる専門の職員が兼務で1名という現状は、博物館の業務遂行のうえで大変厳しい状況である。今後も引き続き、人事面での要望と理解を求めていくとともに、関係機関との連携を図りつつ、業務の効率化並びに計画的に事業が遂行できるよう努めてまいりたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	20
事務事業名	各種教室開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	當麻スポーツセンター他

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	誰もが生涯健康で過ごせるまちづくり		
	施策目標	運動の場の形成を通じた市民の健康の増進		
事業の目的	市民に教室等を紹介し、スポーツに親しむ機会を提供して健康増進を図る。			
事業の内容	<p>市内在住の3歳～5歳児及び小学生を対象に、スポーツに親しんでいただくきっかけづくりのため各教室を開催する。教室の実施対象者のニーズを把握し、できるだけ多くの方の参加を目指す（初心者優先）。</p> <p>親子テニス教室や親子体操教室のように親子でふれあえる教室のニーズが高まっているので、さらに充実していく。</p> <p>また、各教室の総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」への移行を目指す。</p>			
事業対象	教室・講座受講者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業費 ①		1,141	1,120	1,162	
	内一般財源		1,141	1,120	1,162	
	内国・県補助金					
	内受益者負担					
	人件費 ②		2,220	2,299	2,273	
総コスト①+②		3,361	3,419	3,435		
実績と成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	小学生	千円	728	714	882
		一般	千円	140	140	0
		親子教室	千円	273	266	280
	事業成果	小学生	人	180	168	124
		一般	人	15	16	0
		親子教室	組	31	44	40

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	各教室とも参加者から一定の評価は得られている。 幼児や親子を対象とした教室については運動を始める機会や親子のふれあう機会を提供するという意味で重要な役割を担っていると考える。 教室の総合型スポーツクラブへの移行については、令和2年度にエアロビクス教室を移行する予定であり、着実に移行を進めている。			
事業の課題・問題点	事業は、スポーツを始めるきっかけの提供を目的に行っているが、リピーターの申し込みも散見される。スポーツクラブ葛城への移行とともに、本事業の受講者が次のステップとしてスポーツクラブ葛城に入会するといった橋渡しとしての役割を強化していく必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	スポーツクラブ葛城への移行を進めているものの、スポーツクラブの事業が軌道に乗り、教室数を増やすことができる体制になるまでは時間を要する。そのため、教室の移行についてもしばらく期間が必要である。当面は、本事業とスポーツクラブ葛城のそれぞれが教室を行う体制となるため、両教室の内容のバランスや継続性を考慮して教室の内容を検討する必要がある。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	この事業は、スポーツを始めるきっかけを提供し、スポーツに親しみ健康の増進に貢献しており評価できる。将来的には総合型スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」に移行する。大人対象のスポーツは移行したが、子供対象や親子対象のスポーツはまだこの事業で実施している。今後、スムーズに移行できるよう取り組んでいくことがこれからの課題である。 スポーツクラブ葛城が設置され、大人対象の事業は全て移行が完了しています。スポーツクラブ葛城の自主運営独立採算には現状の全教室の移行が必要といわれていますので、ターニングポイントとなる令和4年に向け、移行を加速するべきだと考えます。それに伴って、奈良市のように、市内の生涯スポーツ団体を紹介するWEBページを作成し、生涯スポーツの入口に市民を誘導する手法を平行して構築しなければいけません。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	教育委員会主催の子供対象と親子対象の教室もスポーツクラブ葛城への移行を目指しています。しかしながら、現状では十分な受け入れ体制が整っておらず、全ての移行は難しいと考えられます。スポーツクラブ葛城のスタッフ増員等、受け入れ環境が整い次第、令和4年までには完全移行していきます。 WEBページの作成についても、各教室の活動を広く周知し、より多くの市民の方々が新しくスポーツを始めるきっかけとなるよう、スポーツクラブ葛城と連携・協議の上、積極的に取り組みます。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	21
事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	新庄第1県民運動場他

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	誰もが生涯健康で過ごせるまちづくり		
	施策目標	運動の場の形成を通じた市民の健康の増進		
事業の目的	各種スポーツ大会等を企画し市民の参加を促す。			
事業の内容	<p>市民が積極的に参加できる各種大会の開催や後援などを通してスポーツの振興を図り、健康・体力づくりを支援する。市体育協会及び加盟団体とともにスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興と体力・健康づくり及び技術の向上を図る。</p> <p>市民体育祭をはじめとする各種のスポーツ・レクリエーション大会等の行事については、参加及び実践意欲の向上をかんがみて内容等を検討し、さらに多くの市民がスポーツに親しむように努める。</p>			
事業対象	大会参加者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		4,548	4,548
内一般財源			4,548	4,548	4,699	
内国・県補助金						
内受益者負担						
人件費 ②			5,525	6,767	6,471	
総コスト①+②			10,073	11,315	11,170	
実績と成果	区 分	単 位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	大会事業費	千円	4,548	4,548	4,699
	事業成果	大会参加者数	人	8,807	8,484	9,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	全体参加者数は横ばい状態であるが、競技種目によっては、参加者数が減少傾向にある競技も少なくない。参加の条件や、ルール等について団体と協議し誰もが参加しやすい大会の運営を行っている。 令和元年度には、年齢により部門(小学生、中学生、一般、シニアの4部門)を設定したクロスカントリー大会を初めて開催し、幅広い年齢層が参加できるスポーツ大会の運営を行った。			
事業の課題・問題点	市民体育祭について、令和元年度には出場を見送る地区があった。高齢化や過疎化等、地区により事情が異なる中であるべくたくさんの方に参加し、スポーツを楽しんでいただけるよう、プログラムを検討する必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	市民体育祭については、体育協会と協議し、少しずつではあるものの、大字対抗の種目を減らすとともにレクリエーション的な要素を含む種目を増やすといった取り組みを行っている。 体育競技会ではなく、スポーツレクリエーションという考え方で老若男女問わずだれでも気軽に参加できる事業を増やしていきたい。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	競技種目については、市民のニーズをアンケート等で把握し、それをもとに各種団体と協議し参加の条件やルール等の見直しを行い、市民が気軽に参加できるような大会になるよう企画・運営に取り組んで実施され評価できる。しかし、市民体育祭においては高齢化や過疎化等で出場を見送る地区があり、今後、内容等の再検討をする必要がある。 葛城市は他行政に比べて数が多く充実した各種大会を開催しています。市民体育大会は少子高齢化を受けて、大字間の地域温度差が大きくなっています。参加しない大字も発生しており、参加していない大字の中で参加を希望する人はどうするかという問題が発生しています。その他各種大会については時代の変化に対応し、種目を変更するなど適切な運営が行われています。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標 等)	市民体育祭は、子どもからお年寄りまで参加しやすいプログラム作成や、小人数の地区は他の地区と合同で参加できるように各種委員会でも再度協議します。 その他のスポーツ大会は、葛城市の伝統的なスポーツ大会以外にも、一昨年や昨年から開催しているソフトバレーやクロスカントリー大会も要項を見直し、少しでも参加が増えるよう体育協会と協議しながら進めていきたいと思っております。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	22
事務事業名	体育施設の管理運営事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	當麻スポーツセンター他

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	誰もが生涯健康で過ごせるまちづくり		
	施策目標	運動の場の形成を通じた市民の健康の増進		
事業の目的	体育施設の安全で効率的な管理および運営			
事業の内容	体育館 4カ所（當麻スポーツセンター体育館、市民体育館、新庄スポーツセンター体育館、いきがい体育館） 運動場 5カ所（當麻健民運動場、新庄第1健民運動場、新庄第2健民運動場、新町球技場、農村広場） テニスコート 3ヶ所（當麻スポーツセンターテニスコート、新町公園テニスコート、屋敷山公園テニスコート） プール 2ヶ所（新庄、當麻両スポーツセンタープール） 上記体育施設の維持管理・運営を職員5名、アルバイト6名で行っている。 施設の老朽化に伴う修繕については、施設管理の方向性を検討し、公共施設のファシリティマネジメントとの整合性を図りながら、計画的な施設の維持修繕を実施する。			
事業対象	施設利用者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			55,731
内一般財源				54,355	79,115	201,847
内国・県補助金						
内受益者負担				1,376	1,159	1,437
人件費 ②				7,290	12,217	11,943
総コスト①+②				63,021	92,491	215,227
実績と成果	区 分	単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)	
	事業実績	施設管理費	千円	55,731	80,274	203,284
		内修繕、工事費	千円	9,920	31,924	167,698
	事業成果	施設利用者	人	171,918	157,393	160,000

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>老朽化が著しい各施設の維持管理については、修繕が必要な箇所が数多くあり、優先順位をつけて対応・管理を行っている。高額な修繕が必要な施設もあることから、財政状況を考慮しながら補助金等を利用して修繕を行う必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>それぞれの施設に修繕箇所が多数ある中、施設利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備するため、長期的な視点での修繕計画の策定が必要である。体育館は災害時の広域避難所になっており、市民体育館の耐震化工事、新庄スポーツセンターの耐震診断を実施する予定です。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>財政状況が厳しい中、職員で対応可能な修繕は自前で行う等の工夫をしながら施設整備を行う必要がある。</p>
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>毎日数多くの人活動する体育施設は、安全で快適に利用できなければならない。しかし、老朽化が進み修繕が必要な箇所が多々あるのが現状である。本年度も、日々点検・確認し、計画的に管理運営していただいております。これからも使用者が安心して活動できる体育施設に取り組んでいただきたい。</p> <p>2町合併の恩恵とも弊害ともいえますが、葛城市には多くの体育施設があります。当然のことながら施設の維持整備には数に応じたコストがかかり、市民の安全な利用のためにはその労を惜しむことはできません。耐震・エアコンなどの熱中症対策・老朽化対策など今後も適切に本事業を行っていく必要があります。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	<p>老朽化した施設の維持管理に関しては、日々点検・確認し必要に応じて改修を行って参ります。熱中症対策については、昨年度市民体育館、新庄スポーツセンター、當麻スポーツセンター格技室にスポットクーラーを設置しました。今年度は、當麻スポーツセンターアリーナにも設置予定です。耐震化につきましては、今年度に市民体育館の耐震補強工事、新庄スポーツセンターの耐震診断を実施し、市民が安全で快適に体育施設をご利用いただけるように努めてまいります。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	23
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	當麻スポーツセンター他

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	壮健・学習～心と身体が健やかに育まれるまち～		
	政策目標	誰もが生涯健康で過ごせるまちづくり		
	施策目標	運動の場の形成を通じた市民の健康の増進		
事業の目的	総合型地域スポーツクラブを設立し、市民のスポーツ意識の高揚、健康増進や体力向上及び子供から高齢者までの人々が集い、スポーツや文化を楽しむコミュニティの実施を図る。			
事業の内容	<p>平成28年度末に総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ葛城」が設立され、市のスポーツ教室と両事業での重複教室を移行して、クラブの充実を図る。</p> <p>さらに、公共施設を有効利用して、市民(地域)の方が、気軽に参加でき、人と人のふれあいや仲間づくり、また、市民(地域)のために運営・活動をおこなうもので、健康増進に加えて、子供たちの健全育成のために、現代社会の諸問題(子供の遊び場の減少やいじめ不登校をはじめとする教育問題、さらには、核家族化による世代間交流の欠如などの問題)に、応えられるスポーツクラブの運営を目指す。</p>			
事業対象	施設利用者(市内在住・在勤者)			
事業年度	■	区分指定無	□	令和 ～ 令和 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成30年度決算	令和元年度決算見込み	令和2年度予算	
	事業費 ①		2,690	3,277	4,560	
	内一般財源		470	328	456	
	内国・県補助金		2,220	2,949	4,104	
	内受益者負担					
	人件費 ②		1,145	1,066	1,066	
	総コスト①+②		3,835	4,343	5,626	
実績と成果	区 分		単位	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(目標)
	事業実績	諸謝金	千円	1,200	1,200	2,160
		事業費	千円	1,490	2,077	2,400
	事業成果	体験教室参加者	人	161	0	150
		設立準備会	回			
		教室参加者	人	238	306	320
運営委員会		回	10	10	10	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成29年度より本格的にスタートした事業だが、平成29年度には171名、30年度には238名、令和元年度には306名と教室生は増加傾向にある。			
事業の課題・問題点	国からの補助が令和3年までとなっていることから、独立採算制で事業を継続できる体制を作ることが急務である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	事業の継続・拡大を行うため、業務体制の改善やスタッフの増員等を協議する必要がある。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>この事業は国の補助事業であるが令和3年までであり、それ以降は補助金がなくなり、独立採算性で実施していかなければならない。そのためにも、市民のニーズを的確に把握し、事業の目的達成に向け、事業が継続できるよう指導・助言していく必要がある。</p> <p>課題・問題点に上げられる様に、国庫補助金が令和3年度までということで、来年度末までに独立採算の目途をつけなければいけません。前身の無償で行っていた「各種教室事業」よりも結果的に市費負担が増えるようでは本末転倒になります。また市とクラブとの関係性・連携・役割分担などの枠組みをしっかりと構築しておかなければならないと思われまます。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	令和3年度に独立採算で事業を継続していく体制を構築すべく、積極的に事業に関与し連携を強化していく。	

7. 点検及び評価のまとめ

教育に関する事務の点検及び評価報告書（各事業評価シート）について、教育委員会より以下の意見を受けました。

(1) 各事業に対する意見について

事業 No. 1 小・中学校トイレ改修工事

清潔で明るいトイレは特に心を癒される場所でもある。器具等に不具合が生じた時には迅速な対応をお願いしたい。

課題にあるように、校内の工事騒音を休日施工等、工夫することで、極力回避するよう努めていただきたい。

各小・中学校のトイレ改修工事が、段階的に進み、明るく清潔なトイレに改善されたことは、子供たちが快適な学校生活を送れる環境が整ってきたものと大いに評価できる。

生活環境の変化により、トイレ改修工事を積極的に行うことは、子供たちの健やかな成長にもつながると思われ、正しい排便意識の啓発とともに、今後も環境改善を進めてほしい。

事業 No. 2 小・幼各所改修工事

子供たちが日々安全で快適に過ごせることは言うまでもない。その点、園・学校と教育委員会とが常に連絡を密に取っていただいているのが伺える。引き続き迅速な対応をお願いします。

未施工であるなら、新庄小学校附属幼稚園内の樹木で、床が雨晒しになる部分の改修、樹木の撤去、建築基準法の屋根の設置を含め、検討いただきたい。

各学校施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えることが多く、予算面においても大変苦勞されると思われませんが、事故につながらないためにも、常に学校との連携を図り、いち早く、適切な対応に心がけていただきたいと思えます。

葛城市については、今後も子供の人口が増えると予想される中、安全・安心を優先に登校園できる環境作りと、改修にいたらない箇所の安全点検の定期的な実施も必要。

事業 No. 3 小学生スポーツ教室委託事業

子供自身求めにくい機会を与えるこの様な事業は大変有意義なものである。企画・内容については、常に子供たちのニーズにあったものを考えて頂きたい。

コロナ禍であり、いろんな制約があると思えますが継続する意味においても、小規模でも良いから工夫して実施していただきたい。

子供たちが、将来の夢や目標に向けて努力しようという思いは、アスリートの講師の皆さんからの体験談を聞くことによって、その姿勢を学びとることができ、より大きな成果が上げられていると考えられます。今後も幅広い分野でのアスリート講師を招き、夢ある教室が持続できることを期待します。

実績や有名な方々を講師に招き、子供たちの夢や目標など、教科書では教えてもらえないことなど、子供たちの成長には欠かせない事業と考える。

事業 No. 4 学校給食事業

施策等への反映方針に述べられている通り確固たる努力をお願いしたい。

安定した供給を行う上で、給食費の値上げはやむを得ないと思います。よって、今後、値上げ幅等を学校給食運営委員会等に諮っていてもいいのでは。

安心・安全な給食事業の運営を円滑に維持管理していただいているところですが、子どもたちから学校給食が楽しみと思ってもらえる内容の充実した給食を提供するためにも、今後は給食費の値上げにも視野を入れ、検討していく必要があると考えられる。

他市町村に対し葛城市の給食費が割安である点から考えると、給食の安定供給の面で、給食費の再検討が必要。

事業 No. 5 葛城歌壇短歌大会

継続事業として考えるのであれば、広報活動に力を注いでみてはと思う。例えば、作品を毎月の広報「かつらぎ」に掲載していくのも如何なものかと考える。

廃止するのは簡単ですが、短歌の魅力をアピールするとともに参加人員増に努めていただきたい。が、参加人員減少が止まらないようであれば、合併事業の検討も考慮する必要があると思います。

表彰式などの参加人数も年々少なくなっているように思われます。葛城市の文化を推奨し、守っていくためにも、市民の皆さんに理解していただける場を設けることが大切なのではないでしょうか。過去にこだわらず、新しい取り組みを示されてはどうかと思います。

事業 No. 6 読書活動支援・講座

一般書店の廃業、統合が進んでいる中で、当事業は継続していただきたい。

昨今、本離れ、活字離れが進む中、いろんな活動が行われている中、小・中学生の利用数が伸びていないと見受けられる。特に奈良県は全国下位に当たる。本の貸し出しのほかに、長期休みの際に、勉強スペースの開放や講師の常駐などの市民サービスの検討が必要。

事業 No. 7 ブックスタート事業

広報活動等を通じ、ボランティアの確保、育成に努力し事業継続していただきたい。

ブックスタート事業を通し若い世代の市民と行政のコミュニケーションの場として、有効に行われ今後も継続してほしい。

事業 No. 8 成人式式典事業

毎年本市の成人式は、健全で新成人にふさわしい成人式であることに高く評価したい。今後も参加して良かった、企画・運営して良かったと言える成人式を期待する。

新成人が主体となりとても良い式であると思います。特に幼稚園児の和太鼓の演奏には会場の一体感を感じました。多世代との交流（小、中学生）が進めば、より責任感とよりよい成長となると思います。

事業 No. 9 青少年健全育成事業

事業の中味が見えてこない。地道な活動であると思われませんが、地域ぐるみの取り組みを再度検討する必要があると考えられる。

葛城市の子供たちは、比較的安定していると感じられる中、インターネットの普及が進み、目にみえない、見つけにくい問題が広い範囲で起こる可能性がある。5団体の皆様及び行政は、子供がインターネットの環境にあることを認識し、対応を進めなくてはいけない。今後中学生の校内スマホ問題も重要。

事業 No. 10 学校・地域パートナーシップ事業

学校運営にはかかせない地域パートナーシップ事業の中味を知る人が少ないと思われます。ボランティア登録の高齢化や減少傾向を食い止めるためにも、事業の活動内容を広報紙やホームページに掲載し、PRするなど、人材確保に努力していただきたい。

パートナーシップ事業はとても重要であると考え中、問題点として、中学校のコーディネーターの高年齢者1人での事業。今後の人材確保。小学校は、多人数の方がいらっしやるので、授業補助、引率等大変感謝します。今後も、ご活躍のほどよろしく願います。

事業 No. 12 葛城アートフェア事業

実行委員会は勿論のこと関係者は事業の目的を再確認し、意識の高揚に努めて頂きたい。また葛城市民にとっても有意義な事業に繋げて頂きたい。

年々、来場者が減少してきており懸念されますが、市単独事業となり、予算面や人員確保など課題も多く、今後は事業の見直しが必要と思われる。

事業 No. 13 公園まつり実行委員会業務

本年度は中止となりましたが、毎年楽しみにされている行事の一つです。毎年同じスケジュールでの開催で、午前中で帰宅される方が多いと感じます。いろんな角度で見直し、より良い公園まつりに期待します。

事業 No. 16 文化振興事業

新型コロナウイルス感染の影響を受け、予定していた事業が実施できず、集客数も減少し、予算が達成できないという事態が起き、運営面においては、今後も厳しい状況が続くものと懸念され、事業のあり方を見直す必要性が求められるものと思われる。

いろんな啓発活動や告知活動、販売手段、イベント内容等、評価できる内容である。助成金など使いながらも、採算をとるのも難しい状況も分かるが、教育現場から見ると、小、中、高の生徒向けイベントと入場の学割に補助金等の活用で参加しやすい環境が必要。

事業 No. 18 歴史講座開催事業

歴史講座の参加数が増え、葛城市の歴史や文化について、多くの市民の方々に興味を持っていただくように努力をされ、経費節減にも貢献されたことは大いに評価できるものである。今後も歴史を深めていくための事業の取り組みに期待します。

事業 No. 19 埋蔵文化財等調査事業

埋蔵文化財を保護していくために、人事面で毎年大変困惑されている。専門員を確保するのに実績等を示し、強く要望されたい。

専門技術職員の増員に努めていただきたい。

事業 No. 20 各種教室開催事業

市民の健康増進に貢献されている。昨今健康寿命が話題となり、葛城市も平均寿命及び健康寿命を延ばしていける事業の一つであり継続を望みます。

事業 No. 21 各種スポーツ大会等開催事業

市民体育祭について高齢化や過疎化等で参加されなかった地域があった。やはり葛城市民が気軽にこの祭りに足を運べるような企画・運営をお願いしたい。今後、少なくとも参加されない地域が増えないよう考えて頂きたい。

競技内容により参加できない大字が多々あるということを耳にします。多くの市民の方に楽しく参加していただくためにも、小規模の大字も全ての競技種目に参加できるようプログラム内容を引き続き検討していただきたい。

他の市町村に比べ、多種にわたる大会、運営されていると感じます。市民体育大会については、大字の格差、世代の格差など問題が多数みられる。再度大会内容、スケジュール等、見直しが必要と考える。

事業 No. 22 体育施設の管理運営事業

スポーツの町、葛城市と言われているように多くの市民は多種多様のスポーツを親しみ体育施設を活用されている。施設の安全面には特に注意を払っていただきたい。

本年度は体育館のエアコン設置で熱中症対策には十分評価できる。今後は安全、安心に利用できる、また災害時には避難所として安心して使用できる施設として点検、管理を行う必要がある。

(2) 総評

主要な23事業について、事務局・各機関は「A評価…5、B評価…15、C評価…3」と自己点検しています。その中でも、C評価「成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い」と判断される事業もあります。改めて、それぞれの取り組み状況を振り返りたいと思います。

今後も、事業の対象となる市民の皆様の満足度を第一に考え、ファシリティーマネジメントに基づいて、PDCAサイクルで事業遂行をしまいたいと考えます。

この事業評価に関わっていただきました有識者の方々には、高い見識と豊かな経験のもとに貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

いただきましたご意見を真摯に受け止め、未来に生きる子どもたちが健やかにたくましく成長できるよう、また、市民の皆様が日々の生活の中に安らぎや喜び、潤いを感じていただけるよう、関係者皆様のご理解とご支援・ご協力を得ながら事業の推進に向けて努力してまいります。

令和2年9月1日

葛 城 市 教 育 委 員 会